

施策	1203 河川環境の整備・管理						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	水辺環境の整備、河川の美化活動、水質の浄化等を進める。						
成果指標	清掃作業参加人数 5年後(H25～H29)の参加人数16,250人(現状値15,180人)						
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [人]	予定	15,200.00	15,450.00	15,700.00	16,000.00	16,250.00
		実績	15,488.00	15,875.00	15,795.00	16,068.00	14,488.00
	成果指標2 []	予定					
		実績					
	成果指標3 []	単位コスト					
		予定					
	成果指標4 []	実績					
		単位コスト					
	トータルコスト (千円)	予定	72,432	40,744	43,013	26,417	26,614
実績		95,113	42,577	39,711	26,665	27,649	
内 部 評 価	貢献度	基本施策の目標値達成には、市民への普及啓発及び支援活動や河川環境の整備・維持管理を適正に行うことが必要であるため、本単位施策の目標達成による貢献度は高い。					
	達成状況	普及啓発及び支援活動や河川環境の整備・維持管理を適正かつ効果的に行ない、事業・施策とも良好な進捗ではあるが、平成29年度は、目標値を下回った。					
	課題	自治会や愛護団体だけでなく関係する団体等へ連携の拡充や、幅広い層への普及啓発を行うことが必要であり、継続して水路等の適正な管理や市民等の清掃活動への支援も必要。					
	取組方針	自治会や愛護団体への厚い支援を行うとともに、河川環境の向上の啓発活動を行い、併せて水路等の適正な維持管理に努め、来年度は目標達成に向け事業・施策を進める。					
外 部 評 価	<p>清掃作業参加者は高齢化により減少している現状ではあるが、地域の人達が清掃することは美化意識の向上のためにも必要である。</p> <p>若年層やクラブ等への働きかけや、鎌や軍手等を準備するなど、市民が参加しやすいように検討すべきである。</p> <p>また、子どもたちの河川環境に対する意識向上のため、美化運動を含めた様々な体験学習や環境イベントの実施を検討すべきである。</p>						
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	152501	水質調査事業費				8,828	100
	152502	水質調査事業費(大平)				750	100
	152503	水質調査事業費(藤岡)				3,375	100
	426501	河川・水路清掃事業費				9,225	100
	426301	河川浄化施設管理費				2,493	90
	426101	河川総務事務費				2,978	1
	152504	水質調査事業費(都賀)				0	0
	421201	永野川桜つつみモデル整備事業費					0

平成29年度 単位 施策評価表 補表

施策	1203 河川環境の整備・管理		
区分	妥当性	妥当	上位施策の目的を達成するために有効である。
	コスト削減の余地	有	河川総務事務費等経費縮減可能と思われる事業もある。
	受益者負担	適正	負担割合は適正である。
	上位貢献度	有効	単位施策の目標達成度による貢献度は高い。
	類似事業の有無	無	代替え事業等はない。
	成果向上の余地	有	水辺環境の整備や河川美化活動、また、水質の浄化等を進めることで河川環境の保全が図れる。
内部評価 【H29年度分】	貢献度	基本施策の目標達成には、市民への普及啓発及び支援活動や河川環境の整備・維持管理を適正に行うことが必要であるため、本単位施策の目標達成による貢献度は高い。	
	達成状況	普及啓発及び支援活動や河川環境の整備・維持管理を適正かつ効果的に行い、事業・施策とも良好な進捗であるが、平成29年度は目標値を下回った。	
	課題	自治会や愛護団体の清掃活動参加者が高齢化してきており、全体の清掃活動者数が減ってしまっている。今後は、自治会や愛護団体だけでなく関係する団体等との連携の拡充や幅広い層への普及啓発を行うことが必要である。	
	取組方針	自治会や愛護団体への厚い支援を行うとともに、河川環境向上の啓発活動を行い、併せて水路等の適正な維持管理に努め、来年度は目標達成に向けて事業・施策を進める。	
内部評価 【前期5年分】	貢献度	基本施策の目標達成には、市民への普及啓発及び支援活動や河川環境の整備・維持管理を適正に行うことが必要であるため、本単位施策の目標達成による貢献度は高い。	
	達成状況	普及啓発及び支援活動や河川環境の整備・維持管理を適正かつ効果的に実施したことで、前期は目標値を達成してきた。事業・施策とも概ね良好の進捗であった。	
	課題	清掃作業参加者の高齢化による参加人員の減を減らすために自治会や愛護団体だけでなく、関係する団体等との連携の拡充や幅広い層への清掃活動の周知や普及啓発を行うことが必要である。また、継続して水路等の適正な管理や市民党の清掃活動への支援も必要である。	
	取組方針	自治会や愛護団体等への厚い支援を行うとともに、河川環境の向上の啓発活動を行い、併せて河川、水路等の適正な維持管理に努め、後期の5年間も目標達成に向けて事業の推進を図る。	